

# 瑞岩寺報

2012.01.01  
(平成24年 睦月)

【正月号】

## お正月総合案内

### お正月ご祈禱法要

お正月は毎日、天地が招福除災を祈念する大般若ご祈禱を勤行します。  
お正月は前年の悪を反省し、新たな年の誓いを立てる、年初めにふさわしい行事です。

ご祈禱は左記の通り行われます。

厄年厄除・病氣平癒・交通安全・良縁成就・開運厄除・家内安全・無事成就・商売繁盛・学業成就・試験合格などのご祈禱のお申し込みは同封の申込書をお寺まで持参されるか、ファックス(37-5535)してください。

【期 日】 1月元旦(日)

1月2日(月)

1月3日(火)

【時 間】

午後10時～午後2時頃の2回

【ご祈禱料】

ご祈禱紙札 (小) 3,000円

ご祈禱木札 (中) 5,000円

ご祈禱木札 (大) 10,000円

【お願い】

一、お願い毎は二つまでにしてください。

一、ご祈禱札にはお守りがつきます。  
一、法要後、ご祈禱札をお持ちください。  
一、法要にはなるべく本人がご参加ください。  
一、希望の方には郵送しますので申し付けください。

### 年始参詣

【期 日】 1月元旦～3日

【時 間】 午前7時頃～午後5時まで  
※年始参詣にお寺にお参りに来られましたすべてのお檀家さまにはすばらしい瑞岩寺カレンダーをお渡し、祝茶を差し上げます。是非、皆様お揃いで気軽にお出かけ下さい。



お墓そうじ 瑞岩寺にお墓のある方へのご案内です

【期 日】 12月25日(日)

【時 間】 午前7時頃から

お正月が近づいてきました。お墓のお掃除をしましょう。この暮のうちに仏壇をきれいにしてお鏡餅を供え、お花を飾り準備を整え、元旦早朝、若水を汲み供え、一家そろって仏壇に手を合わせ、よき新年をお迎えになることは、私たちの善行の始まりだと思います。さらに、お寺に参拝してご先祖様に感謝の誓いを祈ることこそ意義深い初詣になると思います。一斉お墓掃除を右記のごとく行います。たまには早起きしてお墓掃除も気持ちいいものです。お子さんやお孫さんといっしょにどうぞ。

## 厄年早見表

◇からだの変わり目◇

	後 厄	本 厄	前 厄
男の大厄	42歳 昭和45年	46年 昭和46年	47年 昭和47年
女の小厄	37歳 昭和49年	51年 昭和51年	52年 昭和52年
女の大厄	33歳 昭和54年	55年 昭和55年	56年 昭和56年
男25歳の厄年	昭和62年	昭和63年	平成元年
女19歳の厄年	平成5年	平成6年	平成7年
幼児4歳の厄年	平成20年	平成21年	平成22年
男女61歳の厄年	昭和26年	昭和27年	昭和28年
13歳詣り	平成12年 男女		

### Attention!

以下の点に留意ください。

◆強制ではありません。また、上記以外の日や時間も受け付けております。  
◆自分のお墓の掃除が終わったら、通路など共有の場所のお掃除も積極的にお願いします。  
◆遠方の方はお寺でやっておきますのでご安心ください。  
◆飲み物はお寺で用意してあります。

### 「お祈禱法要について

お祈禱札について、申込書を持参、またはファックスしてください。  
※ご祈禱料の振込用紙を同封します。  
市内・県内外の方は同封の振込用紙をお使いください。

## 新潟県妙光寺

えいじ

## 小川英爾ご住職

## インタビュー

〔副〕今日はインタビュアーにに応じていただきまして誠にありがとうございます。ご住職さまは、永代供養墓の先駆けとなる「安穩廟」を手がけられました。これからの「お墓」または「葬儀」というものはどのように変遷するとお考えですか？

〔小川〕うちの事例でしかお話しできないのですが、まずうちでは一般に言われる『檀家制度』というものをとっていません。「檀徒」という言い方をします。もともと、宗教法人のなかにも実は「檀家」という定義はありません。教団の中にもない。全部「檀徒」という言い方をしています。「檀家」という言葉は、おそらくGHQが背後で指示して家として継承する「檀家」という概念を抹消したのだと思います。だから、「檀信徒」という言葉になっっている。しかし、昔から「家」で継承していくのが当たり前だったので、今の社会にこの「檀家制度」が合わなくなっています。

意義も教育も個人主義で、「家」いうものが継承されない方向へ流れてい

るわけですから、当然「檀家制度」は崩壊してゆきます。そういう意味からも妙光寺では「檀家」という言葉はなしにしました。なしもなにも法の上ではもともとないのです。

私の寺に来る人には、一人一人このパンフレットを使用して丁寧に説明をします。そのとき「檀徒とはなにか？」ということを伝えます。「檀徒は妙光寺の教えを信奉し、または住職にお通夜・葬儀を委託でき妙光寺にて通夜・葬儀を営むことができる人。」と定義されています。「檀家」＝「家による継承」に対して、「檀徒」＝「個人との契約」となりますので、子供や子孫に継承を強制しません。年会費は家族単位で1万円となり、その他寄付を含めたお寺の運営費を担うことにはなりますが、寄付は任意で強制はありません。檀徒はお願いすればいつでも受け入れますが、辞めることも自由です。

ですから、いわゆる昔からの檀家さんも同じことです。ただし、この時に問題になるのが従来の「お墓」なんで



安穩廟

。「寺墓地というものは檀徒でなければ、その使用を認めない」となっていますから、檀徒を辞めるときにはお墓を持つて出て行つてくださいということになります。で、「安穩廟」の場合は、「檀徒」ではなく「信徒」という契約になります。「宗派を超えて受け入れています」ので問題ないわけです。

だから、住職が怠ければ「檀徒」はよそのお寺へ行く自由はあるし、逆に頑張れば「檀徒」が増え、生き生きとした関係ができるということです。そういう関係を作っておかないといかないというのが、永代供養墓の根底にあります。

葬儀というのは、そのお寺のご住職の弟子になるわけです。その意味でも「弟子」は「代々である」必要はない

わけです。基本的に夫婦単位で申し込まれて「檀徒」となれば、このお寺を維持していく費用として年会費一万円。そして経理はすべて会計事務所に依頼し、「檀徒」には公開していません。役員会は収支決算書、収支予算書を議論し、監査を受けて作成します。

しかしそれが、明確になってきたときに、今の「お墓制度」がネックになります。墓があるからということだけで、明確な意思もなまま「檀家」になつてしまう。だからこれはいつかまた辞めて、今使っている墓も全部契約制にしてしまおうとを考えています。お墓をもつて出て行くということは、費用のことを考えたら大変です。お寺の檀信徒は辞めることも入ることも自由であるべきです。

ですから、お葬式も「檀徒である」という意思を表明した人」でなければ受けることはありません。個人の意思や親族の意向を確認することが困難で、のちのち遺族に無用な負担のかかる場合があるからです。

年会費が違いますから、都合のいいときだけお寺にお願いして、あとは知らないよ。というそんな都合のいい話はないよということなんです。そのかわり、「檀徒」になれば、年会費とか寄付はありますが、葬儀に関しても大きな負担はいただきません。新潟県以外にも住職が行きますし、身内だけの家族葬も安価に境内の施設で行うことができます。その場合、深夜でも指定の



葬儀社がご遺体を迎えにいきます。また、葬儀の費用は事前に見積もりもします。

「信徒」でも法事は受け付けますが、こういった施設を利用したご葬儀は「檀徒」でなければ認めません。施設は檀徒の方が寄付してくれたものだからです。それを当日の実費だけで使うのはいけませんということです。こうしたお互いの緊張関係も必要です。

それから、お金の問題とは別に住職である師匠にあの世に送ってもらおうだということを確認にしていることです。ただ単にセレモニーの執行役ではないということ。また、生前に信頼関係を作り上げることが基本です。

昨日もお葬式がありました。どうして住職にお葬式をしてほしいからと、日にちを変えて待つて下さいました。それは有難い話です。そのような関係を広げていくこと。そこにはお布施が多いとか少ないとかさうい議論はありません。

お寺と「檀徒」は親戚のような関係でないと意味がないと思います。そういう方向を目指して現にそうなっています。住職やお寺への信頼は高いと感じています。

現在3人のお坊さんで葬式・法事をまわすだけで精一杯です。これが本来の目的ではないのですが、。

また、お葬式やお墓に関する相談も沢山あります。昔は村の本家筋や親戚

がフォローしていましたが、核家族化でそういう仕切る人がなくなっています。しかし、葬儀社からきた葬儀の依頼は受け付けません。檀徒の親族からお寺に連絡してもらいます。それを葬儀社はサービスタと勘違いしてしま。混乱している家族になり代わり電話をしていると、一報といえども葬儀社がすべきではありません。

そのかわり、24時間いつでも電話をしてもよい態勢です。塔頭(たっちゅう)が一棟ありますので、そこで葬儀なり法事ができて、宿泊もできます。お墓参りで宿泊されたり、夫婦喧嘩したので泊めてもらってもいいですか？なんていうのもあります。とても快適な建物です。一泊2000円で朝ご飯がでます。逆に住職とゆっくり飲みたから一緒に寿司でもとって飲むうなんていうのもありますね。私も徹底的につき合うので、私の身体の心配までしてくれれます。(笑)

「檀家制度」がどうだとかというよりも、すでにこの方針で20年間やってきました。新しい人にとって一番避けたいのは、檀家になって寄付を取られることでもないし、護持会のことでもありません。強制的に次の世代にお寺との関係を譲り渡すということが一番困るわけです。それがうちの御寺には「檀徒制度」なのでないわけです。

次の世代で息子さんが継ぐ場合、「檀徒」になるのか「一会員(信徒)」になるのかを確認します。「檀

徒」にならない場合、「一会員(信徒)」になり年会費が下がります。例えば、嫁いだ1人娘さんは「檀徒」にはなれません。嫁いだ先に菩提寺があるわけですから。たとえ、息子さんがいても自動的に檀徒だという関係を作らない。それが一番納得される方法です。そして、そういう選択肢を与えられていることを喜んで、ほぼ100%「檀徒」を継続されています。新しい「檀徒」さんはそういうお寺のシステムに感謝し、とても熱心です。

〔副〕「檀家」という呼び方を辞めて「檀徒」として個人と寺との関係に移行するタイミングというものはいつだったのでしょうか？

〔小川〕「安穩廟」が軌道にのったときです。理由はお金の面で怖くないからです。「安穩廟」を始めたきっかけは、この土地で原発建設や産業廃棄物処理施設の建設を住民投票で止めました。建設会社と暴力団、行政の癒着に反対したわけです。その住民運動に積極的に関わっていました。そのときある檀徒役員に、「お寺の住職は社会的は活動をするな。すれば今後お寺への協力は一切しない」とまで言われました。それが理由で社会的な活動を休止するならもうお坊さんの意義はないと感じたわけです。だけど、それでは兵糧攻めに合う訳です。(笑)

「檀徒は辞めないけれど、金銭的な協力は一切しない」と言われたら、お寺が成り立っていきません。一般的に

は、われわれがお坊さんを食わせてやっていると意識が田舎には当時まだありません。

そこで「みなさんからいただいたお布施は、お寺の維持費に全部まわっていて、住職の給与は安穩廟の利息からでています。」と言いたかった。そして、若い世代の人たちが味方になってくれました。社会的な活動をする住職に圧力をかけるような檀徒役員はその地域のある種ボスですから、若い人たちの中にもものが言えなかった人もがいたわけです。

いくら理想を言っても食べられなければ仕方ないわけでして、最低限の経済基盤を作りました。自分自身の心配は何もありません。そうすると相手にはとてもさわやかに映るようで逆にどんどん寄付が入ってくるようになりました。「食うに困って寄付をお願いします。お布施を上げさせてください。」という姿勢そのものが媚びていきます。そうではなくて、いただいたお布施で境内を整備しましたから目に見えてお寺がきれいになっていきます。そこでさらにみなさんも自発的に寄付をしてくれます。

「お葬式ができる塔頭(建物)が欲しいね」と話していたら、3000万円と送られてきました。工事を進めていたら見積もりであと10000万足りないことが分かった。そして、「しょうがないね」とさらに10000万振り込まれた。そして、「庭もきれ



葬儀が行える会館

いにしましょう」と、別の年から1000万。とてもいい循環で回っています。従来の檀徒であったり、関係のない人からものです。

そういう意味で、来年このお寺は創立70年なんですけれども、ハードの面で何もすることがないんでそこで、とにかく70人集めて何かしようかと、。ハードはもう作らなくていいから、70人でお祝いしよう。70人を本山の身延山に一泊二日で参拝し、そこで記念法要をしよう。

本山のお参りは現在減少しています。世の中の風潮はそうです。この70人記念法要はひとつの提案です。私は決してお寺だけがよくなればいいとは思っていません。『安穩廟』のシステムも公開しています。

企画に賛同したら地区ごとにバスを割り当て、責任をもって役員さんに人集めをしてくださいと、。それが80歳の役員だと体力的にできないわけです。それでうちの寺では75歳定年制にしています。

もちろん120%うまくいっているわけではありません。それでもとにかく何かあったらお寺に相談しようという風潮ができあがっています。

しょつ中色んな相談が来ます。相続問題もあるし、遺骨の守り手の問題、自身の葬儀や墓のことまで。私にできないことは親しい司法書士、弁護士の手を貸ります。

先日もこういうことを指南してくれるのはご住職さんしかいないと感謝されました。それが、お寺のあり方でもあるし、『よろず悩み相談所』という信頼関係です。

今、フィナンシャルプランナーとか、そういう人たちができてきて死後のいろいろなことをお手伝いしますという仕事があります。お寺がうかうかしっているところに行ってしまう。やはり、常に新しい問題にも関心を持つて行く必要があります。

大事なことは、寺は死んだあとのことではなく、死ぬ前のことで忙しくないといけないということです。

今、作っているものは、「もしもの

時に開くバインダー形式の手引き」のようなものです。葬儀社などにはあるけれど、お寺にはそういうものがない。マニユアル」とか「手引き」とかあるといいですよ。

今、生前戒名をやっていますが、平均で年間20人。10年続けていますから20人以上の人が戒名を持っています。日蓮宗の研修会でそれを話したら、はじめての方にそんな良い戒名をつけるのかと言われた。発心して私を紹介してお釈迦さまの弟子、日蓮上人の弟子になりたいというんだから、いい事ではないですか？もし、よい戒名をつけたいなら、これは期待です。すばらしい檀徒になってください。期待していますと言います。

昔のよい制度とかいっぱいあります。それが、手垢で汚れてしまったんです。悪いところは変えていけばいいし、よい所は残して行けばいい。いずれは妙光寺ではすべての檀徒が戒名を持つている、持つていない人は檀徒ではないと言っちゃうよと今言っています。檀徒である「証し」であるわけですから。

(副) 「妙光寺では位階はないのですか？」

戒名の上のランクはあります。それは、役員を3期以上勤めた方だけです。1期3年ですから、9年以上勤めた方だけになります。そもそもこの地には戒名料という習慣がありません。お布施も決して多くはありません。

近頃はよく、亡くなる前に「うちの爺さんが、そろそろ危ないので住職さん予定はどうですか？」というような話が来ます。どうしても住職である私に来てもらいたいからということですが、とても光栄でありがたいことです。このように最近の葬儀の半分以上は事前に連絡があります。

正直、私はお布施の金額を見た事はありません。すべて会計の妻がやっていますので全く知らないのです。「いくらですか？」と聞かれたら「お布施の金額には決まりがありません。多くても少なくともお経が長くなるわけでも、短くなくわけでもありません。だから10万でも100万でも一緒です。基本的にあなたの精一杯でいいです。それでも分からないと言われたら、大体ここでは全部込みで平均20万くらいです。10万の方もいますし、30万の方もいます。死んでからもおつきあいがあるんだから無理しないでください。とお答えします。

(副) 「安穩廟」の金額というのは、どういう風に決められたのでしょうか？」

85万という金額は、全国の永代供養墓に広がりました。私が今やっていることのすべてを合算すれば200万頂戴してもいいと思っています。そのくらいの仕事はしているつもりです。これは20年前に始めるときに、世の中にお墓をつくるわけですから、それほど高価だったから売れないわけです。しか

し、安く売り出したら赤字になり採算がとれません。そこで、こちらへんでお墓を一塔建てた場合80万くらいになります。それで最初75万円にしました。でも、財政的に厳しかったので、現在は85万にしています。お坊さん3人、事務員2人、会計1人と24時間体制。これだけのサービスをしていたら85万は安いと思います。

単純に石材店の費用が半分、半分が利益です。うちは1区画85万で何人でも入れます。他のお寺では2人までしか入れないとか、1人追加で5万円とか結構あります。ここではパソコンで檀徒管理システムを作りました。プログラムから作ってもらっています。

85万の背景には、そういった費用も含まれているわけです。お墓だけでなく、それを管理し、運営し、お墓参りの人や葬儀にも対応するシステムです。今2人の事務員がいますけど、電話がかかってくると、すぐにその番号からどの方から分かるようになっていきます。埋葬されている方のお名前を言って、すぐに場所も検索できるようなになっています。俗名からも名前の一文辞からでも検索が可能です。このシステムから私がいなくても事務員がすべてを把握できるようにしています。パソコンで檀徒管理システムを構築するということは、今すぐ住職が死んでも全く変わりなく日常の業務ができるということをめざしてきたわけです。

(副) 全部の檀徒を回られるのですか？

ここでは、最初の契約のときに回るか回らないか選択していただきます。普段は東京にいらっしゃるが帰省するとか、別居してお仏壇はおばあちゃんの所にあるとか、それも今回のソフトで解決しました。生前戒名、家族の氏名、住所など病院のカルテのように詳しく電子化されています。

このあたりには「半檀家」という習慣があります。1軒の家に菩提寺が2つあるのです。男性と女性で菩提寺が異なる。代々男性は〇〇寺、女性は△△寺というふうに。昔、お寺は租税と戸籍の権限を有していました。檀家が減らないようにそういう制度が残ったのだと思います。死亡届から婚姻届までお寺が市役所の役割を担っていました。結婚の同意もお寺が出す訳です。そこで、他宗に嫁に行く事は許さないと、ならそちらの分家をうちの寺によこせとか。嫁にいつてもいいけど、代々女性はうちのお寺から離れてはならんと決めたり、それが今でも残っている地域があります。そういう情報もパソコンにいれておかないと住職だけの頭にあってもスタッフが困るだけです。

檀徒の属性もネーミング分けしてあります。うちの仕分けは、「安穩正会員」「安穩檀徒扱」「正檀徒」「準会員」「半檀家」「ボランティア会

員」、など。

「檀徒」ということを定義すると、自分がどこに属するのかという事が明確になるわけです。「檀家」というと自分はそうなのか、そうでないのか？どこまでを檀家というのか明確でないわけです。いい意味でも悪い意味でも定義があいまいなのです。それが今の既存のお寺です。そのために問題も起きています。きちんと決まっているとお互いにスッキリします。

従来の檀徒さんと娘さんが2人だけで、その方が亡くなってしまったときに「お墓どうしますか？」と聞きます。「そのままにしてください」と言われてもここではできないとハッキリと言います。「檀徒以外の墓地の使用は認めません」という規則があるので、例外をつくるのができないのです。どうしても相続したい場合は、「安穩廟」に移っていただきます。

(副) いろいろ貴重なお話しをありがとうございました。是非、瑞岩寺でも参考にさせて頂き取り入れて行きたいと思っています。

合掌

(終)



# 瑞岩寺寺子屋ライブ 古澤巖さん

## 『Le Grand Amour ～全てを包み込む大きな愛～』



かつて寺院は寺子屋に象徴されるように人々の学びの場として高い教育基盤を社会に与え、仏教は生老病死の四苦八苦の荒波を乗り越えるための妙薬として人々の心の支えとなっていました。しかし、日本の伝統仏教教団が「葬式仏教」と揶揄される今日、仏教を真剣に学ぶ場としてお寺の本堂が有効に活用されることも少なく、「このころの時代」「宗教教育の大切さ」を叫ばれながらも社会に果たすべき役割を満たしていないことも事実ではないでしょうか。そこで、明るい寺子屋瑞岩寺では、当檀信徒はもとより志を持つすべての人々へ100回を目標にこの学びの場を提供してゆきます。

すべてのいのちに、そして今日というかけがえのない日に感謝です。スタッフのみなさんもありがとう！感無量です。

今回は第5回目、テレビでもおなじみの世界的バイオリスト古澤巖（いとお）さんでした！  
雨上がりの秋の虫の音色をバックに古澤さんの生のバイオリンが境内中に響きわたりますばらしいひと時でした。楽しいトークや『アベマリア』『明治神宮奉納曲』『いい日旅立ち』ほか12曲を披露いただきました。感動でした。300人近い方々も夢心地だったのではないでしょうか？今回は東日本大震災という大きな出来事がありましたので、例年にも増して境内に3000本のキャンドルを灯しました。演奏前にすべての参加者と『般若心経』をお唱えしました。



——古澤巖 Profile——  
東京都出身。桐朋学園大学で江藤俊哉、カーティス音楽院でアーロン・ローザンド、ナタン・ミルシテインに、ザルツブルグのモーツァルテウム音楽院でシャートン・ヴェーグ、イヴリー・ギトリスらに師事。1998年から4年間、東京都交響楽団のソロ・コンサートマスターを務めた。1993年、日本たばこ産業（JTI）のピース・ライト・ボックスのテレビ・コマーシャルに出演。ジャズ・ヴァイオリンのステファン・グラツペリ、ギター・デュオのアサド兄弟、葉加瀬太郎と共演するなど、クラシック音楽のジャンルにこだわらない活動をしている。音楽活動を並行してNHK大河ドラマに役者として出演するなど、俳優業も行っている。

合掌



# 宗派自由 あんのん墓苑

太田市のシンボルである金山が眼前に広がる絶好の立地で、仏様に見守られているという安穩(あんのん)な気持ちでお参りができると言うのが墓苑の名前の由来です。

## 見学自由・お申し込み随時受付中

- 広々とした平坦な墓苑で、車イスでもお参りできます。
- 陽当たり良好な全区画南向き・みかげ石通路。
- 駐車場・洗面・トイレ完備。
- 本堂や書院(冷暖房完備)を常にご利用いただけます。  
(瑞岩寺でお葬式・告別式・年忌法要など、あらゆる法事を行うことが可能)
- 自由設計による墓石建立が可能です。
- 永代供養墓は、相続可能な新しいタイプのお墓です。(群馬県初)

- お寺からの寄付の強制は将来にわたってありません。
- 瑞岩寺は財務を公開しています。
- 後継者の名字(姓)が変わっても継承できます。(後継者のいない方には永代供養墓(相続型・非相続型)をお勧めします。)
- 入檀された方は本堂内陣に戸別の過去帳を位牌に収めてお祀りし、戒名を唱えて永代に供養します。

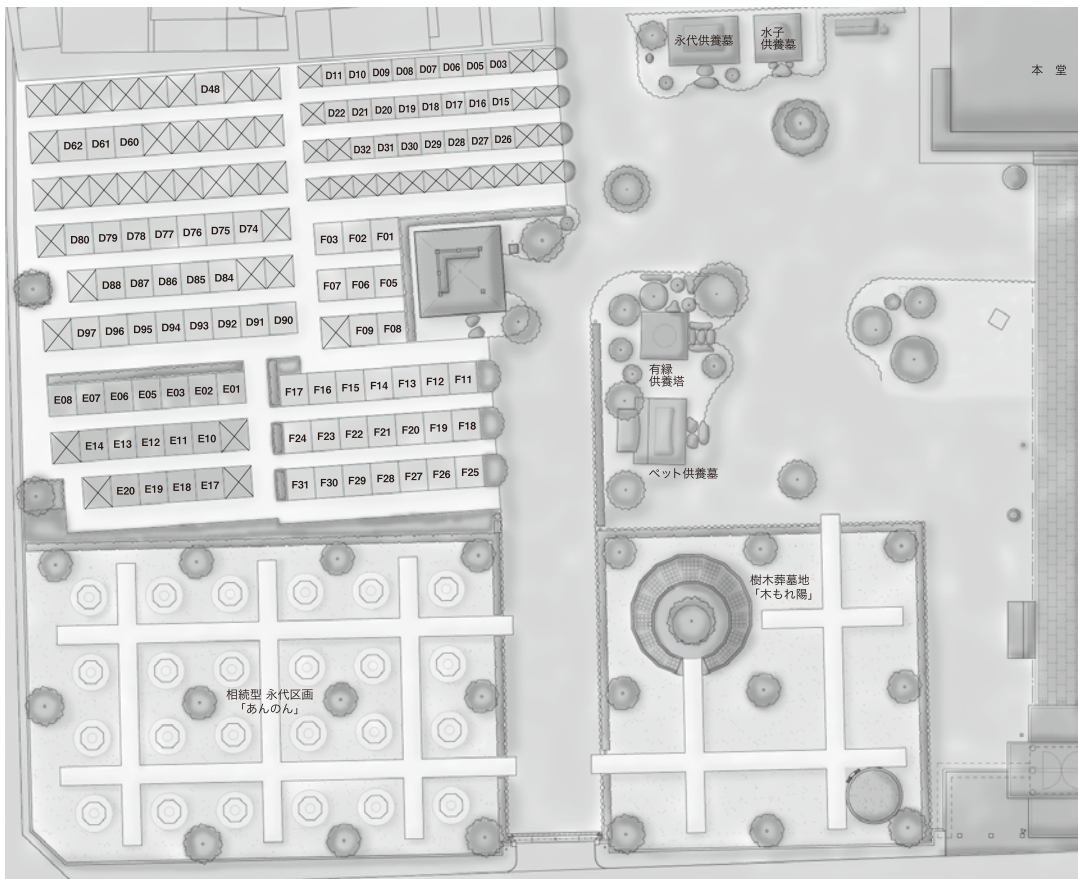
## 墓地契約時の経費

墓地の種類	永代使用料	その他経費		合計金額	石碑建立時に石材店に支払う費用の目安
小区画 1.5m×1.4m 2.1㎡	20万円	基礎造成費 10万円	墓地管理費 2千円/年	30万2千円	およそ 40万円 ～ 70万円
普通区画 1.8m×2.0m 3.6㎡	35万円	基礎造成費 15万円	墓地管理費 3千円/年	50万3千円	およそ 50万円 ～ 120万円
ウィズベット 1.8m×2.0m 3.6㎡	40万円	基礎造成費 15万円	墓地管理費 3千円/年	55万3千円	およそ 50万円 ～ 120万円

年忌法要のお布施3～5万円。石塔開眼供養料3万円以上。塔婆5千円。施餓鬼会供養料1万円(塔婆1基の料金と供養料を含む)など葬儀布施・戒名授与(法号料)も基準を設けています。仏事法要に関するご何でも気軽にご相談ください。

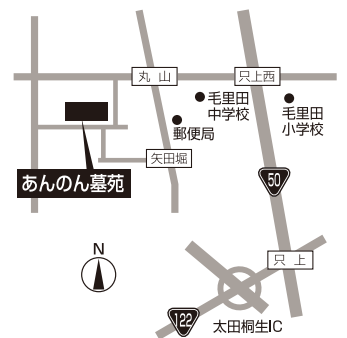
\* 上記の工事金額は、白御影石を使用する普及型から黒御影石などを使用する高級型にいたる、およその見積りも金額です。尚、これは消費税を含む墓石建立に関わるすべての費用です。

## ■ 墓地分譲図 (平成23年12月1日現在)



- 小区画**  
(D区画 01～45) 1.5m×1.4m=2.1㎡ 44区画  
永代使用料20万円+基礎造成費10万円+墓地管理費2,000円/年  
=合計 30.2万円
- 普通区画**  
(F区画 01～31) 1.8m×2.0m=3.6㎡ 30区画  
(D区画 46～98) 1.8m×2.0m=3.6㎡ 52区画  
永代使用料35万円+基礎造成費15万円+墓地管理費3,000円/年  
=合計 50.3万円
- ウィズベット**  
(E区画 01～21) 1.8m×2.0m=3.6㎡ 20区画  
永代使用料40万円+基礎造成費15万円+墓地管理費3,000円/年  
=合計 55.3万円
- 相続型 永代区画**  
(永代区画 イイ01～ハニ21)  
墓石料40万円+永代使用料30万円+永代管理費10万円  
=合計 80.0万円  
(墓碑刻み別料金)

### ● ご案内図



# 住職日記 『檀家と檀徒』

先日、アップルの創業者スティーブ・ジョブズ氏が亡くなった。サンフランシスコ禅センターの知野住職に教えをうけていたらしい。私も一度お会いしたことがある。ジョブズ氏は自分が作り出す製品で世界の常識を変えた。

また、先週新潟の妙光寺の小川ご住職にもお話を聞きに行った。『安穩廟』という永代供養墓を通してお寺と檀徒のあり方で仏教界をリードした方だ。ご住職は「檀家」という家での相続はもはや無理で「檀徒」という夫婦または個人単位での関係作りを提唱している。そして、そのためのインフラ、人材、パソコンなどのシステムを構築されている。

二人とも今までにないことを作り出し、人口に膾炙されている。そして、新しいことをするとき常に抵抗や反対に会う。ジョブズ氏は会社を追われ、小川ご住職も人に言えない苦労があつたという。

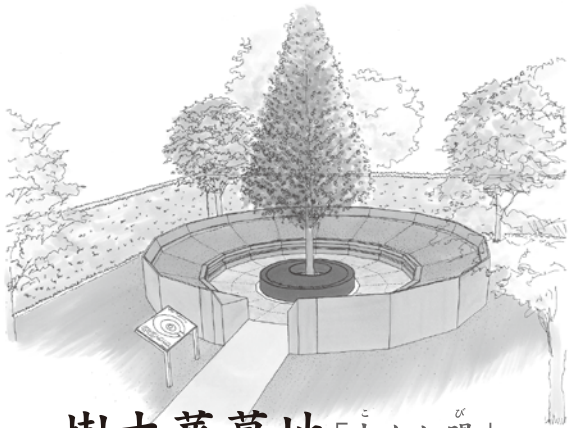
私もハワイで開教師として7年ほど従事した経験がある。10年前10ヶ寺あつた曹洞宗の寺は今4ヶ寺しか機能していない。時代に合わせて変化できなかったからだ。

現地の開教師を育て、人々の悩みに寄り添い、一緒に涙し喜び、現地に合った開教を模索し自ら創造していったお寺だけが生き残っている。

日本にある8万の寺院のいくつが本当に世間の人々の心に寄り添っているのだろうか？また、自分自身も見つめ直すいい機会になった。

『愚の如く、魯の如く、よく相続するを主中の主と名づく』コツコツと一つのことを続ける人が最も強い。形あるものは必ず滅びる。だからこそ、命ある間にたゆまず精進し、一瞬一瞬の生を最大限に發揮せよ。という曹洞宗の祖の教えだ。自分の死と直面したり、困難に直面して人は輝くのかも知れない。

瑞岩寺副住職 長谷川 俊道 合掌



樹木葬墓地「木もれ陽」

## お知らせ

### ◆『あんのん墓苑』

#### 『樹木葬(木もれ陽)』完成

昨年度、墓地の不足と新しい墓地の形を考えて瑞岩寺墓地南側に『あんのん墓苑』が完成しました。この墓地の特徴は左記のとおりです。群馬県では瑞岩寺だけの仕様になります。

#### 【一般墓地区画】

●お寺からの寄付の強制はしません。

#### 【With ペット墓地区画】

●ペットと入れる墓地です。

#### 【永代供養墓地区画】

●先祖供養の継承ができなくなった場合、瑞岩寺が続く限り責任をもつて(永代)供養します。

●生前契約ができます。葬儀の方法や埋葬法に問題意識を持ち、自分の死後は自分で決定したいという方のための墓地です。

●墓地が遠隔地になるので整理したい、分家したのでお墓がない、墓地建設に莫大なお金をかけたくない、身寄りのないお骨を預っているなど。

●普通の墓地としても使用できる画期的な墓地です。

### ◆墓参の際のお願い

墓参の際、墓前にお供えのお供物はカラスや犬猫などが食荒らし汚れます。佛様は香りとお気持ちのみ頂きますので、お参りが済みましたらお持帰り下さるようお願い申し上げます。お団子もできましたら下にアルミホイルを敷いていただく掃除がしやすく衛

生的です。また、古い塔婆はゴミ箱に捨ててはいけません。お寺でお炊き上げをしますので寺務所へお持ち下さ

### ◇悩み事・困り事の相談

悩み事・困り事の相談は無料です。必ず電話(三七一一二三二)にて予約してお越し下さい。相談の内容が外部に漏洩することはありません。相談時間は午前9時から午後7時まで。夜間・深夜の相談は受けません。

### ◇厄年厄除、家内安全、商売繁昌、身体健康、学業成就、安産守護、家族祈願、自動車祈願

法要は、毎日十二時よりお参りできます。ご供養、ご祈願、ペット供養、水子供養は、電話、ファックス、電子メールなどでお願ひできます。

すべての人に佛さまの智慧と慈悲を

## 宗教人 慈眼山 瑞岩寺

群馬県太田市矢田堀町388  
TEL:0276-37-1231/FAX: 0276-37-1729  
E-mail:info@zuiganji.com  
Website:http://www.zuiganji.com  
i-mode:http://www.zuiganji.com/i/

◇御意見、御要望はいつでもお知らせ下さい。  
◇お身体をお大切に、お健やかにお暮らしく下さいませ。  
◆み仏さまの御加護を心からお祈りいたします。 合掌